



ほかにはない  
アンサーを。

悠

株主・投資家の皆さまへ

2018年 3月期 第2四半期 | No.54

Contents

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 01 ▶ CEOメッセージ      | 17 ▶ 世界に広がるオリックス          |
| 07 ▶ オリックスレビュー     | 19 ▶ 株主さま広場               |
| 09 ▶ オリックス最前線!     | 21 ▶ 企業情報                 |
| 13 ▶ ネクスト・オリックス    | 23 ▶ オリックス・バファローズ<br>ニュース |
| 15 ▶ オリックス・ダイバーシティ |                           |

証券コード:8591



## 2018年3月期上期の業績は、 通期の目標とする 当期純利益3,000億円に向けて 順調に進捗しています

2017年12月

取締役 兼 代表執行役社長  
グループCEO

井上 亮

01

### 当期純利益は1,660億円、ROEは13%を計上

平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
2018年3月期上期業績についてご報告します。

2018年3月期上期の当期純利益は、中間期として過去最高額の1,660億円を計上しました。今期は2015年5月に公表した「中期的な経営目標」の最終年度となりますが、目標とする当期純利益3,000億円に向けて順調に進捗しています。また、ROE(株主資本当期純利益率)においても同様に11%~12%の目標値に対して13%となりました。健全性を示す信用格付も、引き続きA格を維持しています。

2018年3月期の中間配当は1株当たり27円といたします。期末配当につきましては、通期の配当性向として27%を予定しています。

### 「事業」「投資」分野での取り組みが順調に進展

世界経済は、米国における雇用・所得環境の改善を背景に引き続き回復基調にあり、その他地域でも緩やかな持ち直しが見られます。日本経済においても、一部に弱さがあるものの全体としては緩やかな回復局面にあります。金利については、世界的に低い水準にあり、日本においても貸出金利は低水準で推移しています。このような環境下において、「事業」「投資」分野での事業拡大を積極的に図り、新規投資を約4,500億円積み上げることができました。また、今後の成長につながる投資案件のパイプラインも多数確保しています。

環境エネルギー分野では、メガソーラーが順調に稼働を始めています。2017年9月末時点で合計出力990MW(メガワット)の

02

プロジェクトを確保し、そのうち650MW分の発電所が運転を開始しています。また、米国の地熱発電事業会社であるOrmat Technologies, Inc.の発行済み株式の約22.1%を取得しました。同社は、地熱発電設備の設計・製造・販売に加え、自ら地熱資源開発および地熱発電事業を手掛ける世界で唯一の垂直統合型の地熱発電事業会社で、米国のみならず中米やアフリカなどでも事業を展開しています。

コンセッション事業\*1においては、オリックス・VINCI Airports S.A.S・関西エアポート株式会社の3社によるコンソーシアムが運営権者として設立した関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港の運営権を取得しました。関西国際空港および大阪国際空港を運営するノウハウを生かし、2018年4月より神戸空港を加えた3空港の一体運営を手掛けることで、関西全体の航空輸送需要の拡大に貢献します。

米国では、住宅用不動産に関する金融サービス事業の拡大を進めました。2016年7月に買収したBoston Financial Investment

Management LPIに加え、今期は高齢者住宅を中心とする賃貸不動産向けファイナンスおよびサービシング(債権回収)などを手掛けるLancaster Pollard Holdings, LLCを買収しました。また、PE投資\*2として2016年3月に買収した米国の交通インフラの安全サービス会社を通じて、同業のBeth's Barricadesの全事業を取得するなど、投資先の企業価値向上も図っています。

日本国内では、情報処理サービス事業を展開する株式会社ブリマジェストに出資しました。同社は、情報システムの構築やBPO\*3受託を手掛けており、人員不足への対策や働き方改革に伴う業務効率化が課題となる中で、今後の成長が期待できます。

航空機事業においても、今期は約70機の購入を予定しており、上期にはすでに44機に投資しました。

このように、再生可能エネルギーや航空機などへの投資に加え、事業承継ニーズを捉えたPE投資など、さまざまな投資機会が存在しています。今後もさらに慎重に案件を選別しながら、新規投資の検討を進めていきます。

## 2018年3月期までの中期的な方向性

### 経営目標

### 資本効率と健全性を維持

しながら、安定的な利益成長の実現を目指します。

利益成長	2018年3月期に 当期純利益3,000億円
資本効率	ROE 11%~12%
健全性	信用格付A格の維持

### 価値創造の道筋

ファイナンス	手数料関連の商品群を拡充し、金利収入からサービス収入へ収益源をシフト
事業	<b>環境・インフラ</b> ・国内メガソーラーの稼働と電力小売事業における自社電源開発に注力 ・アジア・米国などにおける再生可能エネルギー事業者の地位確立
	<b>金融サービス</b> ・生命保険の直販チャネル展開を推進
	<b>メンテナンスサービス</b> ・業界優位を生かした付加価値サービスの拡大、アジアでのサービス拡大
投資	<b>現物投資</b> ・不動産は既存の開発案件、航空機はナローボディ案件に注力
	<b>エクイティ投資</b> ・ヘルスケア、IT、食品、生活支援サービス分野に注力した投資の積み上げ

## 2019年3月期からの中期的な経営目標について

一方で、米国や日本をはじめ世界の株式市場の上昇基調がこの先いつまで続くのかという疑問を抱いています。日本においては、金融緩和政策の継続による資産価格の先行きについて慎重に捉えています。特に今後1年間においては、地政学的な不安定要素が増殖していると認識しています。

このような状況を考慮した上で、オリックスの2019年3月期からの新たな3カ年の経営目標において、「利益成長」「資本効率」「健全性」という3本の軸を設定しました。

「利益成長」については、今期までの3カ年における年平均の純利益成長率は8.5%を達成する見通しですが、来期からの3カ年においては、純利益成長率の目標値を対前年比で4%~8%とします。「資本効率」では、ROEで11%以上を維持すること、「健全性」に関しては、引き続き信用格付でA格の維持を

2019年3月期以降についても、配当性向は27%を維持し、経済環境の変化に合わせて、最適な資本政策を機動的に行っていきます。

「ファイナンス」から「投資」そして「事業」へと、徐々に非金融分野へ事業領域を拡大してきましたが、今後は新たな成長分

## 2019年3月期からの中期的な方向性

### 経営目標

利益成長	当期純利益 年間成長率4%~8%
資本効率	ROE 11%以上の維持
健全性	信用格付A格の維持

グローバル企業としてERM\*4を強化する

### 株主還元の方針

配当性向は27%とする



指します。今後も新規分野への投資や事業展開を成長への重要テーマとして捉えていますが、先に述べましたようなリスク要因が複雑に存在する中で、投資採算性や財務の健全性をより重視して投資案件を選別していくことを基本路線とするため、来期からの新たな3カ年を「ゆるやかな成長期」と位置付けたいと考えています。

野の開拓に取り組むためにも、これまで培ってきた「ファイナンス」と新しい成長機会を獲得する「投資」の機能に、自ら運営を担う「事業」の機能をさまざまな形で融合し、新たな価値を提供していきます。今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 用語解説

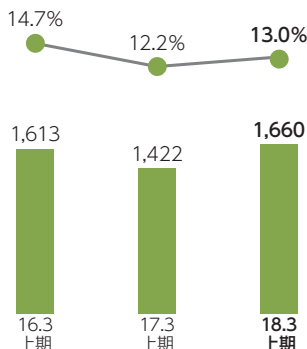
- \*1 **コンセッション事業**  
公共施設等運営権制度を活用したPFI事業。利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者を設定する方式。(出典:内閣府ホームページ)
- \*2 **PE投資**  
プライベート・エクイティ投資の略。未上場企業などの株式を取得し、経営をサポートすることで企業価値の向上に貢献し、株式公開や第三者への譲渡など株式を売却することで利益を得る投資手法。
- \*3 **BPO**  
ビジネス・プロセス・アウトソーシングの略。自社の業務プロセスの一部を外部の専門的な企業に委託すること。
- \*4 **ERM**  
エンタープライズ・リスクマネジメントの略。企業において発生するさまざまなリスクを全社的に管理する体制。

2018年3月期上期業績

- 当期純利益は前年同期比17%増の1,660億円
- ROEは13%、経営目標の11~12%を上回る着地
- 法人金融サービス、メンテナンスリース、不動産、リテール、海外の5セグメントが増益

当期純利益\*1とROE

■ 当期純利益\*1(億円) ● ROE(年換算)



セグメント情報

	法人金融サービス		メンテナンスリース		不動産		事業投資		リテール		海外	
セグメント利益(億円)	199	220	197	204	354	440	520	389	355	430	515	814
	17.3 上期	18.3 上期	17.3 上期	18.3 上期	17.3 上期	18.3 上期	17.3 上期	18.3 上期	17.3 上期	18.3 上期	17.3 上期	18.3 上期
セグメント資産(億円)	10,344	10,015	7,242	7,825	7,051	6,289	6,958	8,636	33,254	32,091	20,515	26,305
セグメント資産ROA*2(%)	2.6	3.0	3.7	3.6	6.7	9.3	10.2	6.5	1.4	1.8	3.3	4.4

\*1 「当期純利益」は「当社株主に帰属する四半期純利益」を指します。 \*2 税引き後

セグメント別 2018年3月期 上期のポイント

法人金融サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業貸付金の減少に伴い金融収益が低下したものの、生命保険販売手数料などのサービス収入が増加。</li> <li>● 弥生において、保守サポートなどのサービス収入が伸長。</li> </ul>
メンテナンスリース	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リースやレンタカーなどの自動車事業が堅調に拡大。</li> <li>● 前年同期と比較し、中古車売却益は減少。</li> </ul>
不動産	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活況な市況を捉え、不動産売却益が増加。</li> <li>● ホテル・旅館など施設運営事業からのサービス収入が増加。</li> </ul>
事業投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境エネルギー事業の拡大によるサービス収入の増加や、コンセッション事業からの利益が貢献。</li> <li>● 前年同期は、投資先の株式売却益およびバークンパーチェス益を大きく計上。</li> </ul>
リテール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生命保険事業において、新規契約の増加に伴い生命保険料収入が伸長。</li> <li>● 銀行事業は、住宅ローンなど営業貸付金の増加に伴い金融収益が増加。</li> </ul>
海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 米州におけるアセットマネジメント事業や、ロベコの資産運用事業からの収益が増加。</li> <li>● 航空機および船舶事業の資産増加に伴い、収益が増加。</li> </ul>

より詳しい財務情報はオリックスグループサイトへ <http://www.orix.co.jp/grp/ir/>

上半期の事業活動トピックスをご紹介します。



水盤テラス



ブッフェダイニング「季しかり」



四季の露天風呂「棚湯」

2017年  
8月

## グループ初の新築旅館 「箱根・芦ノ湖 はなをり」グランドオープン

オリックス不動産は、2017年8月に、グループ初の新築旅館「箱根・芦ノ湖 はなをり」を開業しました。

芦ノ湖の絶景を堪能できる箱根最大級の開放的な大浴場や、四季折々の大地の恵みや海の幸をお楽しみいただけるブッフェダイニング、芦ノ湖と一体となれる水盤テラスを設け、真心をこめたおもてなしで皆さまをお迎えます。

これまで「別府 杉乃井ホテル」など8施設の旅館再生・運営事業を手掛ける中で培ったノウハウを生かし、グループ初の新築旅館の運営に取り組んでいきます。

2017年  
7月

## 医療機関向け業務支援サービス事業を 推進

オリックスは、医療機関向け業務支援サービス事業を推進するため、株式会社CMCと資本提携しました。

CMCは、人間ドックや健康診断などの予防医療分野のサービスを提供する宇都宮セントラルクリニックに対して、医療事務の業務支援サービスを提供しています。

高齢化が進む日本の社会において、予防医療を通じた健康寿命の伸長が課題とされています。オリックスは、これまでも医療法人向けのファイナンス、CT・MRI搭載車両のレンタルなど、医療分野で多様な事業を展開してきました。本提携を通じて宇都宮セントラルクリニックの運営をサポートするとともに、予防医療分野において病院との提携を拡大し、日本の医療の発展に貢献していきます。

2017年  
5月

## 米国の上場地熱発電事業会社に出資

オリックスは、地熱発電事業などを手掛けるOrmat Technologies, Inc.(以下、Ormat)に出資しました。

1965年にイスラエルで創業したOrmatは、地熱発電設備の設計・製造・販売などを行うほか、米国やアフリカなどで地熱発電事業を展開しています。オリックスはこれまで、グループで運営する別府 杉乃井ホテルにおいて杉乃井地熱発電所を所有・運営するなど、地熱発電に取り組んできました。今後はOrmatと戦略的に提携し、日本およびアジア地域における地熱発電事業をさらに推進していきます。

地熱発電は、気候の影響を受けずに安定的に電力を提供できることから、世界的に成長が期待されています。オリックスは、地熱発電、太陽光発電、風力発電などのさまざまな再生可能エネルギー事業を、世界各国で推進していきます。

2017年  
7月

## 国産青果の生産と販売をつなぐ 新しい流通網を構築

オリックスは、国産青果の生産と販売をつなぐ新しい流通網を構築するため、青果流通業者である株式会社ファーマインドと資本業務提携しました。

1991年創業のファーマインドは、全国規模で青果専用のコールドチェーン\*を展開し、14カ所で低温物流センターを運営しています。本提携により、青果流通業を展開するオリックス・フードサプライが提携生産者から仕入れた国産野菜を、ファーマインドの広域かつ多機能な物流ネットワークを活用し、適切な温度管理のもと全国の小売事業者や飲食事業者へ販売します。

オリックスは、これまで野菜の生産事業を手掛けてきた中で培ったノウハウと本流通網を活用し、農事業をさらに拡大していきます。

\*生産地から消費地まで低温で途切れなく運ぶ物流形式。

2017年  
9月

## ロボットショールーム 「Tokyo Robot Lab.2」をグランドオープン

オリックス・レンテックは、東京技術センター（東京・町田）に、ロボットショールーム「Tokyo Robot Lab.2」を開設しました。



2016年4月より、法人向けにロボットをレンタルする「RoboRen」を開始し、2017年1月には、複数メーカーのロボットの動作を体感していただける「Tokyo Robot Lab.」を開設しました。事業の拡大に伴い増設した「Tokyo Robot Lab.2」には、自動搬送ロボットが障害物を検知しながら走行する様子をご覧いただけるデモンストレーションエリアも設置しました。

オリックス・レンテックは、労働人口の減少や生産性の向上への対策が課題とされる中で、レンタルを通して国内産業の発展に貢献していきます。

2017年  
6月

## 「子ども食堂」に集まる子どもたちを 野球観戦に招待

オリックス宮内財団は、設立10周年を迎えた2016年より、地域の人々が児童向けに、食事の提供や居場所づくりを行う「子ども食堂」の支援を行ってまいりました。



2017年は、大阪の「子ども食堂」に集まる児童など約50名をオリックス・バファローズの野球観戦に招待し、日ごろ触れることの少ないプロスポーツを観戦する機会を提供しました。

オリックス宮内財団は、真に「豊かな社会」の実現に寄与することを目的に、社会福祉、将来を担う子ども・青少年の支援、環境保全など、企業活動ではカバーできない分野における支援活動をこれからも継続していきます。

## オリックスグループ新CM 「再生可能エネルギー」篇放映中！



11月22日より、「Do you know ORIX?」をキーワードにオリックスの事業を紹介するCMシリーズ第3弾として、「再生可能エネルギー」篇を放映しています。前作「水族館」篇に続き新CMでも、女優・川栄李奈さんがオリックス入社3年目社員を演じています。北海道・十勝を舞台に、オリックスが運営するメガソーラーの発電エネルギーを突然感じ始める川栄さんと、動揺する彼氏が繰り広げるコミカルな掛け合いにご注目ください。

また、特設サイト「ORIX Channel」では、川栄さんが北海道で発電事業を立ち上げようと奮闘する姿を描いたスピンオフムービーを公開中です。

<https://www.orix-channel.com/>

## 重点分野として コンセッション事業を推進しています



### ■ 関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港のコンセッション事業に参画

オリックスとフランスのVINCI Airports S.A.S.を中核とするコンソーシアムにより設立された関西エアポート株式会社は、日本初の民間による本格的な空港運営事業として、2016年4月より関西国際空港および大阪国際空港を運営しています。オリックスグループの金融や不動産分野における経験とVINCI Airportsの空港運営における専門知識を生かし、40年以上の長期にわたり両空港を運営していきます。

さらに2018年4月より、オリックス・VINCI Airports・関西エアポートの3社によるコンソーシアムが運営権者として設立した関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港の運営を開始します。3空港一体運営による航空ネットワークの最適化や空港アクセスの改善、さらなる格安航空会社(LCC)の誘致に取り組み、関西経済の発展に貢献していきます。

### ■ さまざまな公共インフラにおける新規案件を積極的に検討

オリックスは、2018年4月より浜松市公共下水道終末処理場(西遠処理区)の運営を担う浜松ウォーターシンフォニー株式会社\*に参画しています。

公共施設の運営に民間企業の経営原理やノウハウを活用するコンセッションは、少子高齢化や人口減少が地域経済に与える影響や社会インフラの老朽化が懸念される中で、日本の成長戦略の一環として引き続き注目されています。

空港のみならず、道路や上下水道などさまざまな公共インフラに対して民間の経営力とノウハウが期待される中で、オリックスグループは重点分野として新規案件の検討を積極的に進め、地域社会の活性化に貢献していきます。

\*ヴェオリア・ジャパン株式会社を代表とする企業連合で構成。

### ? コンセッションとは?

公共施設等運営権制度を活用したPFI事業。利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定する方式。(出典:内閣府ホームページ)

民間企業の視点が加わることにより、サービスの向上や収益の拡大にもつながるため、欧州を中心に広く導入されている。

空港運営で培った  
ノウハウを生かし、  
新たな分野にも  
積極的に挑戦

常務執行役  
事業投資本部長  
入江 修二



関西国際空港・大阪国際空港のコンセッション事業については、2016年度の旅客数が前期比で関西国際空港において約7%、大阪国際空港において約3%増加するなど、引き続き好調な運営を行っています。また、路線の増便、関西国際空港の第2ターミナル拡張、空港内簡易宿泊施設の開設など、さまざまな施策に取り組んでいます。今後は、空港運営で培ったノウハウを生かし、新たな分野においても新規案件を検討していきます。



## 変化するお客さまのニーズに対応するため、多様な人材・価値観を大切にしています

### CEO直轄の「職場改革プロジェクト」で働き方改革を推進

お客さまのニーズや経済環境の変化に対応するため、性別や年齢にかかわらず、多様な価値観をもった社員が生き生きと働ける職場環境作りに取り組んでいます。2016年には「職場改革プロジェクト」を立ち上げ、さまざまな職種や年齢の社員

約120名から成る委員会で、約80の施策をCEOに直接提言しました。2017年度は働き方改革推進の一年として、制度の新設など、提言内容の具現化を進めています。

#### リフレッシュ休暇取得奨励金制度

リフレッシュを目的とした年次有給休暇を5営業日連続で取得した場合に、奨励金を支給する制度を新設しました。交通費・宿泊費・飲食費など、リフレッシュを目的としたレジャー関連費用を支給対象としています。休暇を取得しやすい環境を整備し、社員の心身のリフレッシュを図るとともに、業務の属人化防止や生産性の向上につなげていきます。

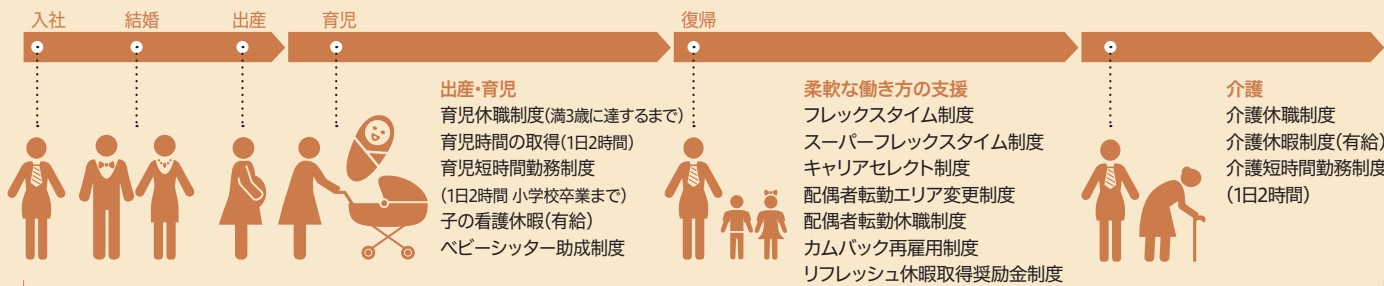
#### スーパーフレックスタイム制度

現在の「フレックスタイム制度」のコアタイム\*(11時～15時)を廃止した「スーパーフレックスタイム制度」を導入しました。6時～22時の間で出退社時間を自由に設定できるため、時差のある海外との折衝や多様なライフスタイルに、柔軟に対応することができます。グローバルに多角的な事業を展開する中で、多様な働き方をさらに推進していきます。

\*フレックスタイム制度において、必ず勤務しなければならない時間帯。

### ライフステージやキャリアに合わせた人事制度の活用を推進

多くの社員が制度を活用し、自身のライフステージやキャリアに合わせた柔軟な働き方を実現しています。



キャリア支援 キャリアチャレンジ制度/社内公募制度/社内インターンシップ制度/職種転換制度/海外トレーニー制度

### 配偶者転勤エリア変更制度を利用し、大阪から東京へ異動

夫が転勤になったため、配偶者転勤エリア変更制度\*を利用して勤務エリアを大阪から東京に変更しました。周りにも同じ制度を利用した人がいたので、スムーズに利用することができ、会社を辞めずに仕事を継続することができました。これからもワークライフバランスを考え、公私ともに充実した生活を送っていきたいです。

\*地域限定型社員が、配偶者の転勤により現エリアでの就業が困難になった場合、勤務エリアの変更を認める制度。

オリックス株式会社 支払・担保管理部  
橋本 菜由



## ORIX USA Corporation を中核に、北米・南米で 事業を展開しています

### テキサス豆知識

OUCの本社があるテキサスで有名な料理といえば、タコスやナチョスに代表されるメキシコ風テキサス料理「テックス・メックス」ですが、ステーキも外せません。日本の霜降り肉とは違い、ボリュームたっぷりのジューシーな赤味のステーキが堪能できます。

また、近年は日系企業の進出が増加しているため、寿司やラーメンなどの日本食レストランや日本のスーパーなどが次々とオープンし、生活しやすい環境です。

約1年前に着任し、日本の本社との連携や、現地での投融资案件のモニタリングなど、経理業務を中心に担当しています。OUCでは米国人を中心に多様な専門性を持つ社員が働いていますが、各部署から集まった担当者が一つのチームとしてプロジェクトを進めることも多く、良い刺激を受けながら仕事をしています。

ORIX USA Corporation 中尾 亮佑

### 公共インフラ関連のPE投資を拡大

オリックスグループは、1981年に設立されたORIX USA Corporation(以下、OUC)を中核に、アメリカにおいて戦略的なPE投資\*1事業や、アセットマネジメント\*2などの手数料ビジネスを拡大しています。

PE投資事業では、公共インフラ関連分野に注目しています。2016年3月には、交通インフラの安全サービスを手掛ける全米最大手RoadSafe Traffic Systems, Inc.を買収しました。同社は、ハイウェイや鉄道、空港などの工事現場における保安サービスや、道路標識の設置事業などを中心に、米国40州以上で事業を展開しています。また、同年11月には道路保安用品の販売・レンタルなどを行うProtection Services Inc.を、2017年2月には水道関連の保守・管理会社Hoffman Southwest Corporationを買収し、同年7月には交通整理事業を手掛けるBeth's Barricadesの全事業を取得しました。道路や水道などの老朽化が懸念される中で、公共インフラ関連の需要を引き続き取り込んでいきます。

\*1 プライベート・エクイティ投資の略。未上場企業などの株式を取得し、経営をサポートすることで企業価値の向上に貢献し、株式公開や第三者への譲渡など株式を売却することで利益を得る投資手法。

\*2 金融資産や不動産など、さまざまな投資用資産の管理運用を代行する業務。

### 北米および南米でアセットマネジメント事業を拡大

北米におけるアセットマネジメント事業では、住居用不動産を対象とした金融サービスの拡大を視野に、2016年7月に、低所得者住宅向けファンドの組成・運用ビジネスを展開するBoston Financial Investment Management L.Pを、2017年9月には、高齢者住宅を中心とする賃貸住宅向けのローン組成に強みを持つLancaster Pollard Holdings, LLCを買収しました。

また、南米ブラジルでは、物流倉庫や住宅を中心不動産市場の成長が予想され、運用資産の伸びが期待されていることから、不動産証券化市場におけるパイオニアであるRB Capital Empreendimentos S.A.の株式を取得しました。北米のみならず、南米各国における投資機会を探索し、米州全体での事業拡大を図っていきます。

ORIX



## 株主さまから寄せられたご質問にお答えします。

**Q** 配当金や配当性向など、過去からの株主還元の推移について教えてください。

**A** 配当については、2009年3月期は金融危機の影響を受け、前年から大幅な減配となりましたが、金融危機以降の業績回復とともに、増配を継続しています。2016年10月には500億円を上限とする自己株式の取得枠の設定を発表しました。自己株式取得は約8年ぶりとなりましたが、2017年4月21日までに計画通りの取得が完了しています。利益成長とともに、配当性向も継続的に引き上げており、2018年3月期は通期の配当性向として27%を予定しています。今後も、持続的な成長に向けた投資だけでなく、株主の皆さまへの安定した還元にも引き続き努めていきます。

**Q** 株主総会の決議通知は郵送されないのですか？

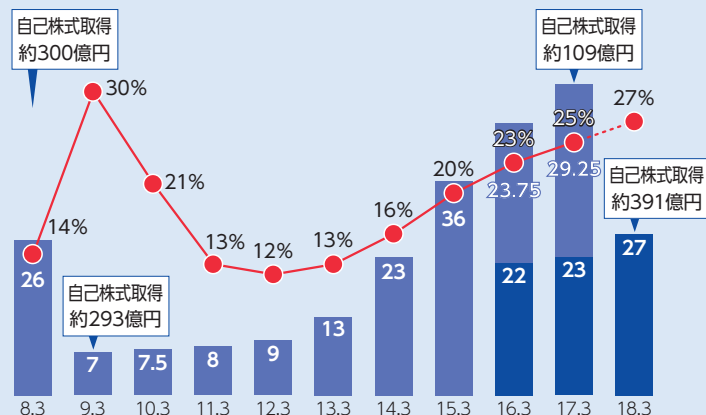
**A** 当社の株主総会の決議通知は、オリックスグループサイトのみでの掲載となっています。株主総会の開催当日にオリックスグループサイト「投資家情報」の「株主総会関連資料」に掲載いたします。  
URL ▶▶ [http://www.orix.co.jp/grp/ir/library/shareholder\\_meeting/](http://www.orix.co.jp/grp/ir/library/shareholder_meeting/)

**Q** 「株主カード」の優待内容について教えてください。

**A** 同封しております「株主優待のご案内」をご覧ください。または、オリックスグループサイト「投資家情報」の「個人投資家の皆さまへ」にも掲載しています。  
URL ▶▶ <http://www.orix.co.jp/grp/ir/individual/investment/>

## 1株当たり配当金(円)\*と配当性向

■ 期末 ■ 中間 ● 配当性向



\* 「1株当たり配当金」は2013年4月1日付けの株式分割を考慮し、遡及して調整しています。

**Q** オリックス・バファローズの2018年シーズン公式戦ホームゲームにおける「株主カード」の優待価格と対戦試合を教えてください。

**A** 2018年シーズンの詳細が決まり次第、オリックスグループサイトにて対象試合・席種・優待価格をお知らせいたします。

## IRスケジュール (本スケジュールは予定であり、変更になる可能性があります。)

2018年	1月	2018年3月期 第3四半期 決算発表
	5月	2018年3月期 通期 決算発表
	6月	第55回 定時株主総会 開催
	7月	2019年3月期 第1四半期 決算発表
	10月	2019年3月期 第2四半期 決算発表

## 会社情報 (2017年9月30日現在)

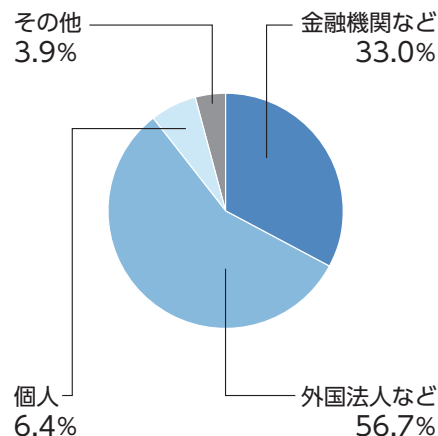
会社名	オリックス株式会社		
設立	1964年4月17日		
代表者	取締役 兼 代表執行役社長・グループCEO	井上 亮	
	取締役 兼 代表執行役副社長・グループCFO	小島 一雄	
従業員数(連結)	35,912名		
事業内容	多角的金融サービス業		
拠点数	国内 1,435拠点	海外 743拠点	

\*世界40カ国・地域に展開しています。

## 株式情報 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	2,590,000,000株	株主数	220,596名
発行済株式の総数	1,324,142,328株		

## 所有者別株主構成比(株式数)



## 株主メモ

### 株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1

 **0120-232-711**

受付時間:9:00~17:00 (土・日・祝日休み)

### 上場金融商品取引所

東京証券取引所市場第1部 [8591] / ニューヨーク証券取引所 [IX]

### 株式事務に関するお問い合わせ先

株主さまの各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

### 証券会社に口座を開設されている株主さま

お取り引き口座のある証券会社にお問い合わせください。

### 「特別口座」に記載されている株主さま

当社の口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部(左記)にお問い合わせください。

オリックスグループサイト

個人投資家の皆さまへのご紹介

オリックスグループをよりご理解いただくための各種情報を掲載しています。最新決算情報や株主優待に関する情報も掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。



オリックス 投資家情報

検索

<http://www.orix.co.jp/grp/ir/individual/>

## 福良監督からのメッセージ

たくさんのご声援をいただき、  
ありがとうございました



今シーズンも温かいご声援をいただき、ありがとうございました。昨シーズンより順位は上がったものの、ファンの皆さまのご期待に応えられませんでした。チームを預かり3年目となる来シーズン、中堅・若手選手の底上げを念頭に、選手一人一人が持つ力を引き出すことができれば、頂点にも手が届くはずです。今シーズンの経験を踏まえ、前を向き、進んでいきたいと思えます。引き続き、変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。

## 2017年プロ野球ドラフト会議



田嶋選手(左) 福良監督(右)

プロ野球ドラフト会議で、12選手(うち育成選手4名)の交渉権を獲得しました。競合の末、福良監督が見事くじを引き当てた1巡目 田嶋大樹選手は、アマチュア球界No.1の投手です。戦略どおりの補強となり、来シーズンへの巻き返しに向け、幸先のよいドラフトとなりました。

オリックス株式会社  
経営計画部  
グループ広報部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル  
URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/>